

小 袋 山

府本小学校だより
第12号 (R4.10.31)
「挑戦！ えがおで一步前進」
文責：校長 右田尚久

荒尾教育フォーラム2022

11月5日(土)にゆめタウンシティモールのシティホールにて荒尾教育フォーラムが開催されます。一昨年度、昨年度と中止でしたが、本年度は、コロナ感染拡大防止から学校関係者と学校運営協議会から2名と人数制限されて実施されます。内容は、各学校のPR動画を視聴したり、荒尾市とシンガポールの中学生のオンライン交流の様子が紹介されたりする予定です。

府本小学校からは、この学校だよりでも紹介しています『本物体験』をテーマに、3年生の大豆作り、4年生の小代焼作り、5年生のお茶摘み、6年生の野菜作り、はばたき学級の梅干し作りを動画と写真を使ってムービーとして紹介します。皆様には、何かの折(学校運営協議会や学級懇談等)に視聴していただけたと思いますので楽しみにされておいてください。

親睦陸上大会



10月20日(木)に晴天の中、3年ぶりに荒尾市親睦陸上大会が開催されました。本年度は、会議に会議を重ねた結果、6年生のみの参加で、午前中開催で行うようになりました。子供たちは、体育の授業や放課後、専門種目別に練習を重ねてきました。自分の自己ベストを目標にして、出場種目に精一杯挑戦していました。開会式や閉会式の姿も立派でした。結果、目標を達成できた人もいれば、及ばなかった人もいると思いますが、その目標に向かって挑戦する過程が自分を一步前進することになります。この大会にチャレンジした6年生は、また一步前進しました。

翌日の21日(金)6年生は、これまでに種目別練習で指導していただいた先生方へ記録賞を持ってお礼と報告に行っていました。私のところにもハードル走に出場した響君とすみれさんが来てくれましたが、「記録がよくなりました。」とニコニコしながら報告してくれました。「諦めず目標に向かって挑戦してよかった」という満足した表情をしていました。

～玉名荒尾『文集いずみ』作文コンクール入賞者紹介～

先日、表記の作文コンクールにたくさんの作品を応募し、各学年多くの方が入賞しましたので紹介します。

- 1年作文 入選：ふじさくのりおみくん「くすだまづくり」
詩 入選：くぼたりおさん「ぼった」
- 2年作文 入選：西田奏さん「スイミー」
詩 入選：大坪蓮子さん「たい王」
- 3年詩 特選：門田匠真くん「へびのぼうけん」
- 4年作文 入選：小倉十和くん「差別をなくす」
詩 入選：芦塚浩希くん「天気」
- 5年作文 入選：富松心美さん「私にとって友達とは」
詩 入選：浦本崇彦くん「秋の味覚」
詩 入選：川上陽太くん「全国大会」
- 6年作文 入選：橋本雀那さん「思い出に残った修学旅行」





「横断歩道では」

金山方面から登下校する子供たち、樺・府本方面から登下校する子供たちは、ほとんどが横断歩道を渡っています。4月の交通安全教室では、低学年で正門前の横断歩道で手を上げての渡り方を学習しています。

朝から子供たちの様子を見てみると、手を上げての歩行がまだ習慣化されていない班もあります。

そこで先日、右のようなパンフレットが出されました。「手を前に出して」渡る意思を車に知らせ、車の方も「手を前に出して」どうぞの意思を歩行者に知らせるようになっていきます。これを「てまえ運動」といいます。子供たちにも紹介したいと思います。

秋になり薄暗くなる時間も早くなってきました。道路を渡る時は、必ず横断歩道を渡り、手を前に出して自分を車に知らせてから渡るようにしましょう。車を運転する我々大人も手を前に出し、歩行者優先で安全運転をお願いします。

本物体験Ⅶ 6年生の農業体験2



10月19日に15cmほどに育った大根の芽を間引きに行きました。「同じ場所から複数の芽が出ていると栄養を取り合い大きな作物が育たないこと」や「発芽している部分から10cmほどの両側に追肥をする際、根からしっかりと栄養を吸収できるように近くにはまかないこと」など初めて知ることがいっぱいでした。6年生はこのような説明やお手本を全員しっかり聞いていました。そして、学んだ行程を手際よく本物体験をしました。最後に山崎さんより「大根1本100円とかでスーパーに売ってあるけど、それを育てるために農家の方は多くの手間をかけて作っていることを知ってほしい。」とおっしゃっていました。子供たちの育てている大根、にんじん、ほうれん草等、大きくたくさん育ててほしいと思います。次回は、にんじんの間引きを行う予定だそうです。



すくすく育てよ農作物!

本物体験Ⅷ 3年生枝豆収穫



7月6日に播種した大豆の4分の1を10月14日に収穫しました。実が入っているものとそうでないものを選別し、枝豆としてゆでて食べました。残りは持って帰りました。家でも食べられたことと思います。まだ残っている4分の3は、大豆として



11月に収穫する予定です。最近では使われなくなった唐箕やめぐり棒での収穫体験も体験することができました。